

# ほんのもり

5月

No.2 2024. 5

富岡中学校図書館  
学校司書村木加津

～富岡中図書館だより～

1年生は中学校生活にもそろそろ慣れてきた頃でしょうか？体育祭の練習など忙しい日々の中、短い休み時間に読書している姿を見るとうれしくなります。わからないことや、朝読書の時間に何を讀もうかなと悩んでいる人など気軽に『司書・むらき』に声をかけてくださいね。

そして、マナーを守り気持ちよく利用しましょう。

## 学習図書委員会よりお願い

お昼休みには、当番の学習図書委員もがんばって活動しています。昼休み終了の3分前には、『昼休み終了3分前です。本を借りる人は借りてください。借りない人は片付けてください』とお片付けコールをしています。

みなさん！ぜひ協力してください。よろしくお祈いします。



## 図書館はいかが？

富岡中学校では、雑誌を11誌と『読売中高生新聞』を購入しています。雑誌は最新号でも借りることができます。是非、手に取って読んでみてください。

- \* Disney FAN(ディズニーファン) ☞ 今年度新しく定期購入をしました
- \* 月刊 MOE (絵本、物語、映画のキャラクターが特集される雑誌)
- \* 熱中ソフトテニス部 (ソフトテニス専門誌) \* サッカークリニック (サッカー情報誌)
- \* ベースボールクリニック (野球専門誌) \* 月刊バスケットボール (バスケットボール専門誌)
- \* バンドジャーナル (吹奏楽部を応援する雑誌) \* 月刊バレーボール (バレーボール専門誌)
- \* 月刊ニュースがわかる (ジュニアのためのニュース解説誌。1ヵ月に起こった出来事や話をわかりやすく解説) \* ニュートン (専門科学雑誌) \* ダ・ヴィンチ (本とコミックの情報マガジン)

## ☆今月の司書・むらきのおすすめ本☆

この本も  
映画化されました。

### 『銀河鉄道の父』 門井慶喜/著

宮沢政次郎の長男・賢治は、家業の質屋を継ぎたがらず、適当な理由をつけては金の無心をするような困った息子。政次郎は厳格な父親であろうと努めるも賢治のためならとつい甘やかしてしまう。やがて妹・トシの病気を機に、賢治は物語を書き始めるが・・・。

今もなお詩や物語で愛されている宮沢賢治。だが、生前の彼は無名の作家のまま37歳で亡くなった。賢治への無償の愛を貫いた宮沢家の人々を描いて158回直木賞を受賞。

究極の親子愛を描いた傑作です。

# 今月のおすすりめ本

テーマは 『映画になった本』

読みたい人はこの指と一まれ！

図書館前の展示コーナーも見てね。本は館内にあるよ！！



<p>『走れ！T校バスケット部』 913マ 松崎洋/著</p> <p>都立T校のバスケット部は、創部以来、ほとんど公式戦で勝ったためしかない弱小チーム。ある日、部員の俊介が交通事故に遭い、右手を切断することに。だが、入院先で知り合ったモーガンがある提案を・・・。</p>	<p>『ビブリア古書堂の事件手帖』 913ミ 三上延/著</p> <p>鎌倉の片隅で営業している古書店「ビブリア古書堂」の若くて美しい女店主・葉子は、人見知り接客業もおぼつかないが、古書の知識は並大抵ではない。これは、葉子と奇妙な客人が織りなす、古書と秘密の物語。</p>	<p>『夏への扉』 913ハ ロバートAハインライン/著</p> <p>ぼくが飼っている猫のピートは冬になると「夏への扉」を探しはじめる。家にたくさんあるドアのどれかが夏に通じていると信じているのだ。そして、ぼくもまたピートと同じように「夏への扉」を探していた。</p>
<p>『ちはやふる上の句 下の句』 913ス 末次由紀/著</p> <p>綾瀬千早は高校入試と同時に、競技かるた部を作ろうと奔走する。おさななじみの太一と仲間を集め、夏の全国大会に出場し、幼いころにかかるたを取り合った、新と再会するために・・・。</p>	<p>『52ヘルツのクジラたち』 913マ 町田そのこ/著</p> <p>自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。</p>	<p>『鹿の王』 913ウ 上橋菜穂子/著</p> <p>帝国から故郷を守るため、絶望的な戦いを繰り広げた戦士団の頭ヴァンは、岩塩鉱に囚われていた。ある夜、不思議な犬たちが岩塩鉱を襲い、謎の病が発生する。その隙に逃げ出したヴァンは幼子を拾いユナと名付け育てるが。</p>
<p>『20歳（ハタチ）のソウル』 913ナ 中井由梨子/著</p> <p>闘病生活の末に20歳で亡くなった青年。母親が吹奏楽部の恩師に連絡を入れると、部の卒業生で告別式に演奏すると言われ・・・。 市立船橋高校吹奏楽部員と、学校の応援曲「市船ソウル」作曲者浅野大義さんの絆の物語。</p>	<p>『そして、バトンは渡された』 913セ 瀬尾まいこ/著</p> <p>血のつながらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。身近な人が愛おしくなる、やさしい物語。</p>	<p>『億男』 913カ 川村元気 /著</p> <p>宝くじで3億円当てた図書館司書の一男は、「お金と幸せの答え」を求めて、大富豪の親友・九十九のもとを訪ねる。だが、直後に九十九とお金が消えた。その行方を追って、一男の冒険がはじまる。</p>

★本の内容紹介は各出版社商品紹介などから抜粋★